

# メビウスのレポート

特定非営利活動法人メビウス千葉 活動報告 新緑号 2021年4月30日発行



鮮やかな新緑の間からこぼれる優しく暖かな陽光に、ついウトウトしてしまいそうな季節となりましたが、メビウス千葉会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

常日頃から、私たちの諸活動に対するご理解・サポート・見守り等、心温かなご支援を賜り、改めて感謝申し上げます。

今後も引き続きご支援・ご指導を賜りますよう、何卒、よろしくお願いいたします。



## 新職員紹介。

4月30日現在、総勢34人（入院中や拘留中含まず。男性21人・女性13人）の寮生を抱えるメビウス千葉。その寮生らの多岐に渡るケアやサポートを充実させるため、昨年12月から新職員として吉田さんを迎えました。吉田さんは30代と若く、福祉の経験はありませんが、先入観なく一般的な感覚で寮生たちをサポートしてくれています。平日朝のミーティングの司会をはじめとして、病院への送迎ドライバーや食堂の買い出し、その他寮生たちの細かな相談に応じたりと、それまで正規職員は1人（川口さんのみ）だった屋台骨を支えています。

また、寮生の中から新たに3人が準職員として、服薬を怠ったために症状が悪化あるいは精神的に不安定になってしまうことを予防するため、平日に毎日服薬確認をする係を担っています。そのうち1人は経理係として、一部の寮生の金銭管理を担っています。そのほか月曜日から土曜日の朝食と昼食の準備も、引き続き4人の寮生がローテーションで担っています。社会内疑似の付き添いを行う寮生もいます。

今後も、この原稿を執筆中（4月中旬）に採用されたメビウスのクレド（クレドとは組織全体の構成員が心がける信条や行動指針のことを表すラテン語）『ひとり、みんなのために。みんなは、ひとりのために。』の元に、寮生1人1人の特性にあった施設内の様々な役割を、無理のない範囲で担ってもらう予定です。

その狙いは、ある寮生が他の寮生をケア・サポートすることによって、その寮生は『自分は必要とされる人間なんだ』という実感を得ることができ、それはその寮生にとって『生きる力』になるからです。寮生たちの中には、問題行動を繰り返すことによって、社会に居場所を失い、仕事や信頼関係を失って社会的に孤立してしまうものも少なくありません。孤立することによって、不安や悩みをなかなか打ち明けられず、自分一人で解決しようとして抱え込んだ結果、ひとりの手に負えなくなり、最終的に再発に至るといった悪循環に陥ることがあります。頼ることと、頼られることは同じくらい大切なことなのです。

人は、「人に支えられる経験」だけでなく、「人を支える経験」をすることで、「1人の人間の存在」の大きさを実感できます。私たちも誰かから相談されると、「自分は相手から信頼してもらっている」と思えて嬉しく感じるものです。「人から助けられること」と「人を助ける」ことを通じて、寮生は「人と繋がることの大切さ」を実感できるのです。

悩みを抱えているからこそ、他者の悩みに気づき、当事者としての助言ができることは、自助グループの強みですが、時としてそれがストレスとなり、新たな悩みの原因にもなります。そのような自助グループとしての性質を生かしながら、寮生が寮生をサポートすることを支援していくことも、正職員の大切な仕事です。

## メビウス動静報告。

(2020年10月～2021年3月)



### 2020年10月

- 男性利用者が、女性利用者の留守中に居室に侵入し、下着を盗みました。女性の部屋の鍵は、事務所にあった合鍵を盗んだものとみられます。下着の窃盗ですが、女性に性的暴行などの危害が及ぶ可能性もありました。男性は再入院しました。
- アルコール症の男性1名、PTSDの女性1名が入寮しました。
- 男性1名が、就労継続支援B型事業所への通所を開始しました。
- 男性1名が、自立（生活）訓練事業所の体験利用を行いました。
- 男性1名、女性3名（いずれも窃盗症）の裁判が行われました。そのうち1名は、再犯のため拘留されました。
- インフルエンザの集団予防接種を行いました。
- 男性2名が退院しました。
- 男性2名が退寮しました。（うち1名無断退寮）

### 2020年11月

- 無断退寮の状態にあった男性が、窃盗により逮捕・拘留され、保釈の後下総精神医療センターに再入院しました。
- 窃盗症の男性が1名入寮しました。
- 男性1名、女性2名が退院しました。
- 女性2名（いずれも窃盗症）の裁判が行われました。
- 女性1名が無断退寮しました。

### 2020年12月

- 女性2名が下総精神医療センターに再入院しました。
- 男性2名が退院しました。
- 男性1名、女性1名が入寮しました。男性は覚せい剤使用のため服役後、メビウスに入寮し治療のために下総精神医療センターに入院しました。女性は窃盗症で入院治療を終え退院・入寮しました。
- 男性1名、女性1名がいずれも無断退寮しました。
- 食堂での食材盗難（私物含む）が相次ぎ、腹を立てた男性利用者が下総精神医療センターに「条件反射制御法で盗癖は治らない」という内容のビラをまき、飲酒のため翌月入院しました。
- 男性1名が、就労継続支援B型事業所の見学、体験利用を行いました。
- 男性1名が、自立（生活）訓練事業所に通所を開始しました。
- 吉田さんがボランティアとして、マイベジタブルのある月・金曜に来所しました。
- サイコセラピーの高岡先生の計らいにより、テイクアウトのクリスマス会を行いました。



2021年1月

- 出雲大社千葉総国講社にて初詣を行い、寮生の健康と安全を祈願しました。昼食は外食を取り、24人が参加しました。参加しなかった人や入院中の人にも、お守りが配られました。
- 男性1名が、自立（生活）訓練の見学を行い、通所を開始しました。
- 盗癖の男性1名の裁判が行われ、拘留されました。
- 昨年4月に別の施設に移籍した利用者が、昨年末に自殺し、葬儀に施設長の鈴木と仲の良かった寮生1名が代表として参列しました。
- 男性1名が再入院しました。
- 女性の1人が発熱し、PCR検査を受け、結果は陰性でした。
- 男性1名、女性1名が退院しました。
- 新職員として、吉田さんが勤務を開始しました。



2021年2月

- 女性1名が実刑10ヶ月の判決を受け、保釈され下総精神医療センターに入院しましたが、治療に真剣に取り組む様子が見られないため退院し、保釈取消しのため収監されました。
- 男性1名、女性1名が退院しました。男性は数日後、無断退寮しました。
- 男性1名が通所利用を開始しました。

2021年3月

- 女性利用者が、近隣スーパーにて窃盗のため店長に注意を受けますが、治療中である事情を説明したところ汲み取っていただき通報を免れました。
- 男性1名が無断退寮しました。
- 女性1名が再入院しました。
- 物質使用障害の男性1名、窃盗症の女性1名が入寮しました。
- 男性2名が退院しました。
- 男性1名が投身自殺しました。

2021年3月末時点 男性17名 女性13名 総在籍者30名

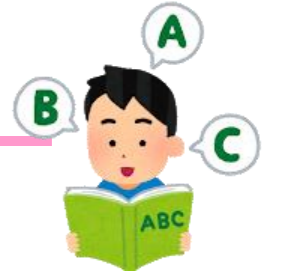


## メンバーの1人を失いました。

悲しいお知らせです。寮生のNさんが、3月24日（水）に投身自殺しました。Nさんは明るく、どちらかといえば人を笑わせてくれるタイプの人で、二度目の緊急事態宣言が解除されて就労継続支援B型事業所に通えるのを楽しみにしていました。自殺をするようには見えなかったため、誰もがショックを受け、信じられない思いでした。自死の一因として、服薬が自己管理であったために服薬を怠り、衝動的な行動をしてしまったのではないかと考えられます。

なお、葬儀は30日（火）に営まれ、施設長と職員をはじめ寮生も多数参列しました。寮生一同、心よりお悔やみ申し上げます。

## 新たな作業療法プログラム。



現在、週2回（火・金曜日）の午後2時～4時まで、「デコパージュ」と称した作業療法プログラムでは、1月から新たにマスクストラップ（マスクを一時的に外す際、首から下げられるようにするもの）を作成し始めました。なかなか売れ行きが好評らしく、精力的に制作しています。また、下総精神医療センターの平井医師の指示の下、クレプトマニア（窃盗症）用の紙上疑似キットの作成に挑戦しています。こちらはA3の紙にお店のレイアウトを描き、様々な商品のミニチュア版と買い物カゴを作り、疑似作業を卓上で手軽に出来るようになっています。

最初は「私は不器用だから…」などと敬遠していた寮生も、外部から来てくださる講師の先生の指導の下、積極的に参加するようになり、回を重ねるごとに出席する寮生が増え、それぞれの寮生の特性を活かしながら各作業を進めています。

また、寮生の中にバイリンガルの方がおり(!)、3月からその寮生を講師とした英語教室も週2回の各1時間（不定期）で開講しています。そちらは基本的に希望者のみなのですが、こちらも好評で回を重ねるごとに出席者が増えてきています。

## サイコセラピーを終了しました。

2018年7月から週1回、月曜日の午後に行われていた高岡先生によるサイコセラピーが、諸事情により3月末に終了しました。高岡先生は今年のクリスマス・イブに「コロナ禍で外出もできず、楽しみがないだろうから…」との気遣いから、テイクアウトのピザや唐揚げなどを提供して下さり、クリスマス特別ランチを企画してくださいました。この場を借りてお礼申し上げます。本当にお世話になりました。

今後も個別の相談があれば、電話やメールで応じてくださるそうです。

なお、4月からは施設長の鈴木さんが、水・木曜に各寮生月1回のペースで面談を行い、交換ノートや匿名のご意見箱など様々な形で相談支援を行っています。

## 「千葉市まちづくり応募寄付金」に応募しました。



千葉市まちづくり応援寄付金とは、千葉市役所市民自治推進課が企画したもので、『一定の要件を満たした対象団体の中から、応援したい団体を指定して寄附ができる千葉市の新しい制度です。「まち寄附」は、ふるさと納税制度による税控除を受けることができるので、まちづくり団体へ気軽に寄附をすることができます。』（下記ホームページより）

ホームページ

<https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/jichi/machikifu-top.html>

対象NPO団体一覧

<https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/jichi/machikifu-taishodantai.html>

なお、引き続き障害者総合支援法に基づく相談支援事業所、就労継続支援B型事業所の開設に向け準備を行っています。詳細はメビウス千葉ホームページのほか、今後のメビウスレポートでお伝えしてまいります。